

1) 政府広報とは

政府の重要施策について、国民の理解と協力を得ることを目的に、新聞、インターネットなどの各種媒体を活用して広報を行っている。

2) 政府広報において実施する広告等

海洋教育、海洋人材の育成・確保を目的として、以下の内容で政府広報を実施。

①子ども新聞

ターゲット層：小学生、中学生、高校生

掲載紙と掲載日：毎日小学生新聞（7月19日）

読売KODOMO新聞（7月25日）

読売中高生新聞（7月26日）

掲載内容：海洋教育に係る政府及び関係機関のコンテンツを用い、小学生向けには夏休み自由研究の事例を紹介。中高生向けには記事形式で紹介。

②動画（3分）

ターゲット層：高校生、大学生ほか

媒体と公開日：政府広報オンライン、政府広報YouTube（7月12日）

政府広報のXアカウント（7月12日）

（関係省庁及び関係機関において一斉リポスト）

掲載内容：海のシゴト（海運・造船業・海洋研究開発）について、実際現場で活躍する若手職員の仕事風景を交えながら紹介。ナレーションは女優の貫地谷しほりさんが担当。
（動画 X投稿版）

https://x.com/gov_online/status/1811626544336417133

（参考）動画再生後の推移先WEBサイト：

C to Sea海ココの「SEA-GOTO」<https://c2sea.go.jp/sea-goto/>



毎日小学生新聞
読売KODOMO新聞



読売中高生新聞



お役立ち動画「魅力がいっぱい！海のシゴト」

「海しる」

自由研究 コンテスト

募集
期間

2024.7.1(月)～9.6(金)



「海しる（海洋状況表示システム）」
を使って、身近な海の魅力や、
課題について調査してみよう！



募集対象

全国の小中学生・高校生

入賞者

表彰状

+

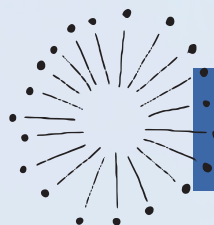
副賞（図書カード最大5万円分）

主催 内閣府総合海洋政策推進事務局

協力 海上保安庁

事務局 株式会社エーフォース





「海しる」を使った自由研究作品

「海しる」の情報を使っていれば、身近な海の魅力や問題について調べたり、海にまつわる様々な課題を研究したり等、なんでも OK！

「海しる」以外にも他の資料やデータを組み合わせてみよう！



スケジュール

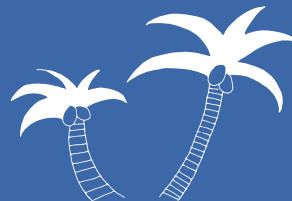
2024 7月	8月	9月	10月	11月	12月
7月1日		9月6日 応募締め切り	審査会	審査結果 の通知	結果発表 表彰式
募集期間					

作品への応募、詳しくはサイトからアクセス！



<https://aforce.co.jp/msil>

🔍 「海しる」自由研究コンテスト



- 小・中学生部門／高校生部門の2部門で、それぞれ最優秀賞1点、優秀賞2点、計6点の入賞作品を選出し、以下の表彰を予定しています。
 - 最優秀賞：1点 表彰状及び副賞として図書カード5万円分 ●優秀賞：2点 表彰状及び副賞として図書カード1万円分
 - 入賞作品に選出された提案者（グループは代表者）には、2024年11月頃までに応募用紙に記入された連絡先に結果をご連絡します。
 - 入賞作品に選出された提案者（グループは代表者）は、2024年12月下旬に東京都内の会場で開催される表彰式に、保護者同伴で招待します。
- ※表彰式への交通費は、本人及び同伴保護者1名分まで事務局がお支払いします。

「海しる（海洋状況表示システム）」は、さまざまな海洋情報を集約し、地図上で重ね合わせて表示できる情報サービスです。掲載情報は地形・地質、海象、気象、安全、防災、水産、海域利用・保全といった幅広い分野から200種類以上！船舶の運航管理や漁業、防災、海洋レジャー、海洋開発など多くの分野で利用可能です。



お問い合わせ

株式会社エーフォース
MAIL:contest@aforce.jp

海しる



カテゴリー

- メディア別広報
- 記者会見等
- 安心・安全
- 災害
- 健康・医療・福祉
- 子育て・教育
- お金・消費
- 経済・労働・税
- 社会・制度
- IT・デジタル
- 環境・エネルギー
- 領土・主権

皇室チャンネル



労働 教育・学び

2024年7月12日

魅力がいっぱい！海のシゴト

出典：「魅力がいっぱい！海のシゴト」

(<https://www.gov-online.go.jp/useful/202407/video-286294.html>)



海の風は 陸よりも強いのか？

船を動かしたり発電にも使われる、海の風。どの方向にどんな強さの風が吹くのか調べてみよう。

くわしくは
▶風のはたらき



国境離島 にはどんな生き物が いるのか？

隔離された自然環境の中で、独自の進化をとげた生き物を調べてみよう。

くわしくは
▶めずらしい動物に出会える島



どこまでが 日本の海なのか？

世界における日本の国土の位置や、領海の範囲を調べてみよう。

くわしくは
▶わたしたちの国土



海は自由研究の宝箱

太平洋側と 日本海側の 海岸のちがいは？

ふだん見られない上空から海岸をながめてみよう。近所の海岸にはどんな特徴があるのかな。

くわしくは ▶海の様子を空から見てみよう



ウミガメは どこで卵をうむのか？

ウミガメの産卵場所が、どんどん狭まってるみたい。海のごみとどんな関係があるんだろう。

くわしくは
▶環境を守る



日本では 何種類の魚が とれるのか？

漁業について調べて、まだ食べたことのない魚も知ろう。

くわしくは
▶水産業のさかんな地域



わたしたちの住む日本は、海にぐるりと囲まれています。身近なようで、そこには不思議がいっぱい。この夏、自由研究のテーマに困ったら、海について調べてみませんか。



政府広報 | 内閣府・国土交通省 あしたの暮らしをわかりやすく

海洋状況表示システム「海しる」で海の本質をもっと解き明かそう。

海しる | Q



「海しる自由研究コンテスト」開催中！

「海しる」を活用した、あなたの自由研究を募集します。期間は9月6日まで。入賞者には図書カードを贈呈。くわしくはこちら▶



海の上に風車を立て、風を受けて電気をつくる「洋上風力発電」が注目されています。一般的に陸上よりも風況（風の状況）が良いことや、道路輸送より制約が小さい船舶輸送によって、設備建設のための部材が運びやすいことなど、いくつもの利点があるのです。洋上風力発電には、風車の基礎を海底に固定する「着床式」と、海上に風車を浮かべる「浮体式」の2種類があります。政府は洋上風力発電をさらに増やすために取り組んでいます。

もっと詳しい情報は
資源エネルギー庁



知ってる？ 海のシゴト



貿易や国内輸送など私たちの暮らしにとって「海」や「船」はなくてはならない存在です。では、「海」や「船」を支えるための「海のシゴト」にはどんなものがあり、どのような人たちが働いているか知っていますか。「海のシゴト」には、世界と日本の物流を支える社会インフラである「海運業」、世界一大きな工業製品である船を作る「造船産業」だけではなく、海と船の安全・安心な運航を支えている人たちなど多くの種類があり、男性だけでなく多くの女性も活躍しているんです。

もっと詳しい情報は
海ココ SEA-GOTO



洋上風力発電 施設って何？



四方を海に囲まれた日本は、海から多大な恵みを受けながら発展してきました。排他的経済水域は、国土面積の約10倍あり、なんと世界で第6位の広さと言われています。海を知ることは、日本をもっと知ること。さあ、広くて深い知的探究心の海へ、あなたも潜ってみませんか。

海の大部分を占める深海は、まだ分からないことも多い世界です。その調査で活躍する探査機には大きく3種類あります。一つ目は、有人潜水調査船(HOV)で、人が乗りこんで深海へと潜って調査する乗り物です。潜水船の窓を通じて自分の目で直接深海を見られるのが最大の強みです。二つ目は、遠隔操作型無人探査機(ROV)で、長いケーブルで船とつながれているロボットで、船上のパイロットがカメラを通じて深海の様子を確認しながら操縦します。海底での重作業が得意です。三つ目の自律型無人探査機(AUV)は、電池を内蔵し、あらかじめプログラミングされた計画に従って自力で航行するロボットです。ケーブルがないので広い範囲を調査できます。それぞれの探査機が互いの得意を活かし、不得意を補いながら深海を調査しています。

もっと詳しい情報は
JAMSTECハーク



広くて深い
海をどうやって
探査する？



自律型無人探査機「じんべい」
©JAMSTEC

いま知っておきたい！ 海のニュース6選

次世代船舶で
カーボンニュートラル？



食料品の多くを海外から輸入している日本。貿易量の99.6%を海上輸送に依存していますが、国内輸送の約40%も船が占めているのです。実は、船はCO₂の排出量がトラックの1/6と少なく、地球環境に優しいエコな輸送方法だと思っていましたか。トラック等の自動車で行われている貨物輸送を環境負荷の小さい船や鉄道の利用へと転換する「モーダルシフト」により、環境負荷

海の物流が
地球を救う？

もっと詳しい情報は
モーダルシフトとは



日本の国境として
重要な役割を担う島？



礼文島・利尻島

日本には、周囲が100m以上ある島だけでも約1万4千島あり、小さなものまで入れると、なんと10万以上もあると言われています。これらの中には、日本の管轄海域の根拠となる国境離島が含まれています。「特定有人国境離島地域」に指定された15地域71島を知っていますか？日本の国境として重要な役割を担いながらも、昔と比べ人口が大きく減少し、地域社会を維持するために環境を整えることが特に必要とされています。これらの島々について、受け継がれてきた独自の文化や風習、壮大な原風景、豊かな食文化等、個性や魅力を学んでみましょう。

もっと詳しい情報は
日本の国境に行こう!!



世界的に地球温暖化対策への関心が高まるなか、日本では2020年10月に「2050年カーボンニュートラル」を宣言しました。貿易量の99.6%を海上輸送に依存する日本においては、海上輸送についてもカーボンニュートラルに向けた取組の実施が求められています。世界有数の海運・造船大国として、海上貿易や海事産業の持続的な発展を図りつつ2050年カーボンニュートラルを実現するため、水素やアンモニアを燃料とするゼロエミッション船等の次世代船舶の普及を目指しています。

もっと詳しい情報は
「次世代船舶の開発」プロジェクト



政府広報 | 内閣府・国土交通省 あしたの暮らしをわかりやすく

「海する自由研究コンテスト」開催中！

海洋状況表示システム「海する」で更に海のヒミツを解き明かし、「海する自由研究コンテスト」にその成果を応募しよう！詳しくはこちら▶

